

3. 道路幅員のイメージ

前ページの整備例（案）のなかで、道路の幅員を記載しておりますが、図面だけでは実際にどれくらいの道幅か、わかりにくいものです。

ここでは、市内の道路について、幅員が12m、6m、4mの道路を参考として掲載しております。



← 12m道路



6m道路 →



← 4m道路

豊井まちづくりだより

<No. 2>

発行 平成30年3月
下松市大手町三丁目3番3号
下松市役所
都市整備課 区画整理係
電話 (0833) 45-1860

掲載情報

1. 第2回豊井区画整理見直し協議会
2. 豊井地区整備例（案）
3. 道路幅員のイメージ

1. 第2回豊井区画整理見直し協議会

平成30年2月28日（水）に豊井公民館にて第2回豊井区画整理見直し協議会を開催しました。

第2回協議会では、「豊井地区整備計画案」について協議しました。はじめに整備案について事務局から説明を行い、質疑応答の後、大きな図面を囲んで、委員それぞれから意見が出されました。図面は次ページに掲載しています。



～協議会で出された主な意見～

- 中央線について、線形は現道を拡幅したほうが道路用地の対象となる家屋が少なくなるのでよい。また、幅員は14m必要なのだろうか。
- 大谷川はホタルが生息しているため、ボックス化には反対である。
- JR沿いの幅員10mの道路の線形は、道路にかかる対象となる家屋の数が少なくて済むので、東側まで線路に沿う形状にしたほうがよいと思う。
- JR線沿いの排水路を大きくしてほしい。また、線路の下に水路を造れないのか。
- 半上通りから豊井通り方面に向かう6mの区画道路は、市道大手線からそのまま延長し、途中で区画道路に接続させる形状にしてはどうか。

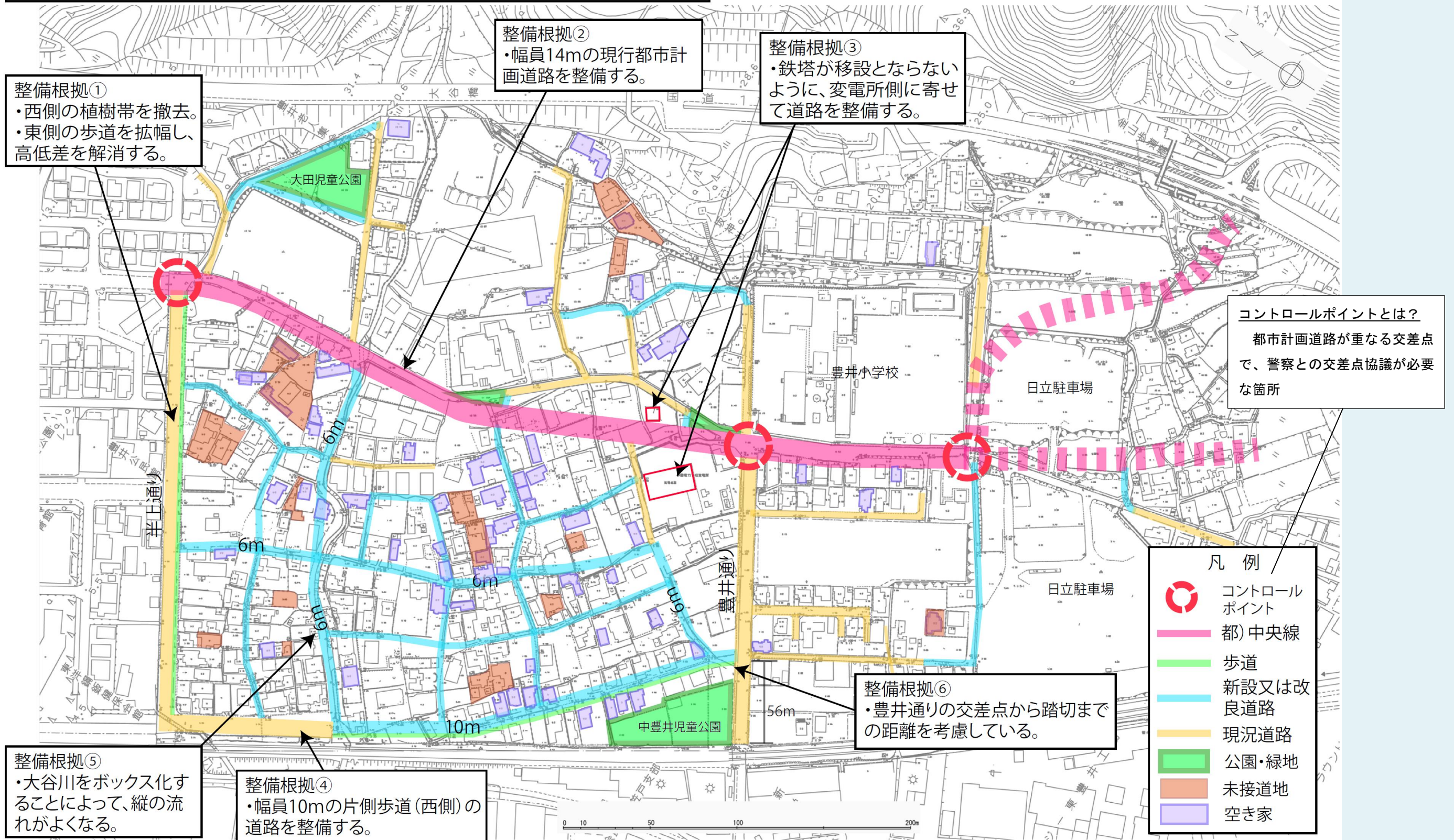
2. 豊井地区整備例(案)

※掲載している整備例は案であり、協議会委員や地権者のみなさんの意見を基に検討・修正を行ってまいります。

豊井地区整備例(案) (街路事業、現道拡幅整備)

施設の配置ポイント

- 中央線のコントロールポイントは3箇所(各交差点部。赤丸箇所)
- 児童の安全な通学路を確保するため、中央線、半上通り、新設するJR軌道沿い道路に歩道を整備。
- 既成市街地の内側に新設する道路は4~6mとし、地域コミュニティを分断しない。通過交通を防ぐ。
- 通過交通は中央線、半上通り、豊井通り、新設するJR軌道沿い道路を想定。



整備根拠①
 ・西側の植樹帯を撤去。
 ・東側の歩道を拡幅し、高低差を解消する。

整備根拠②
 ・幅員14mの現行都市計画道路を整備する。

整備根拠③
 ・鉄塔が移設とならないように、変電所側に寄せて道路を整備する。

コントロールポイントとは？
 都市計画道路が重なる交差点で、警察との交差点協議が必要な箇所

- 凡例
- コントロールポイント
 - 都) 中央線
 - 歩道
 - 新設又は改良道路
 - 現況道路
 - 公園・緑地
 - 未接道地
 - 空き家

整備根拠⑤
 ・大谷川をボックス化することによって、縦の流れがよくなる。

整備根拠④
 ・幅員10mの片側歩道(西側)の道路を整備する。

整備根拠⑥
 ・豊井通りの交差点から踏切までの距離を考慮している。